

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	国際舞台での佐久地域おもてなし事業
事業主体 (連絡先)	佐久広域連合 (佐久市取出町 183 佐久広域連合事務局庶務課企画係 電話 0267-62-7721)
事業区分	(6) 産業振興及び雇用拡大に関する事項 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	402,840 円 (うち支援金 : 302,000 円)

事業内容

- レセプション (G20 軽井沢閣僚会合歓迎夕食会)
 - オリジナル作製した一合枥・酒樽と、佐久地域の蔵元 13 蔵が共同で醸造した日本酒 SAKU13 を提供し、佐久地域流のおもてなしを演出しました。記念品には南相木村のカラマツのおが粉を再利用して作られたブロックを各国関係閣僚に贈呈し、環境への取り組みを PR しました。
- エクスカージョン (体験型見学会)
 - 各国政府・各機関関係者が参加するエクスカージョンで、マンズワイン (小諸市) とシチズン時計 (佐久市) の見学を実施し、地域の優れた技術を有する企業、自然や食文化を体験し、佐久地域への関心を高めました。



レセプションの様子



エクスカージョンの様子

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- レセプション (参加者 147 名 / 26 ヶ国・15 機関)
 - 広域連合長による乾杯スピーチで紹介された SAKU13 の取り組みを始め、最新のレーザー加工技術により作製した枥、SAKU13 酒樽による日本酒のおもてなしは多くの参加者や各国メディアの注目を集めました。
 - 記念品は地元紙に掲載され県内に対しても取り組みを広く紹介しました。
 - 国際メディア向けに小諸市・佐久市の歴史や伝統文化を紹介した外国語版リーフレットを 4 種類各 300 部配布しました。
- エクスカージョン (参加者 74 名 / 17 ヶ国・9 機関)
 - 軽井沢町の近隣市である小諸市、佐久市への来訪により地域の豊かな自然と風土、高度な技術力を持つ企業を世界に発信することができました。

【目標・ねらい】

- 佐久地域の豊かな自然が織りなす「日本酒」や「伝統文化」を国際舞台で発信し、国内外から注目される佐久地域を目指す。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

ますます増えるインバウンド需要を佐久地域へ向けるためにも、組織市町村や関係団体と協力し、継続的な情報発信に取り組みます。

※自己評価【C】

【理由】

- 日本酒や伝統文化の発信で一定の成果はありましたが、参加国への配慮や関係機関との調整で、当初予定していた計画の一部を見直す必要があり、国際会合における事業実施方法に工夫が必要だと感じました。